

**主体的に学ぶ子どもの育成
～主体的な学びを各教科に広げる～**

I 研究主題設定の理由

本校では、2年前から、「主体的に学ぶ子どもの育成」を主題に実践に取り組んでいる。「主体的な学び」の実現に向けて、児童が学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげるために『子どもの思いや願いに基づいた課題設定』と『振り返り活動の工夫』に重点を置いて、低学年では生活科、中高学年では総合的な学習の時間において実践を行ってきた。

『子どもの思いや願いに基づいた課題設定』では、イメージマップ、フローチャート等を活用して、思いや願いを広げ、整理、共有するなかで、児童は、自らの課題を設定し、計画を立てることで、課題を自分事として捉え、粘り強く取り組むことができるようになってきた。

『振り返り活動の工夫』では、活動の区切りやまとまりごとに、学習履歴図といった振り返りカード等を活用したことで、児童は、自分の活動を振り返り、次の学習への見通しを立てることができるようになった。

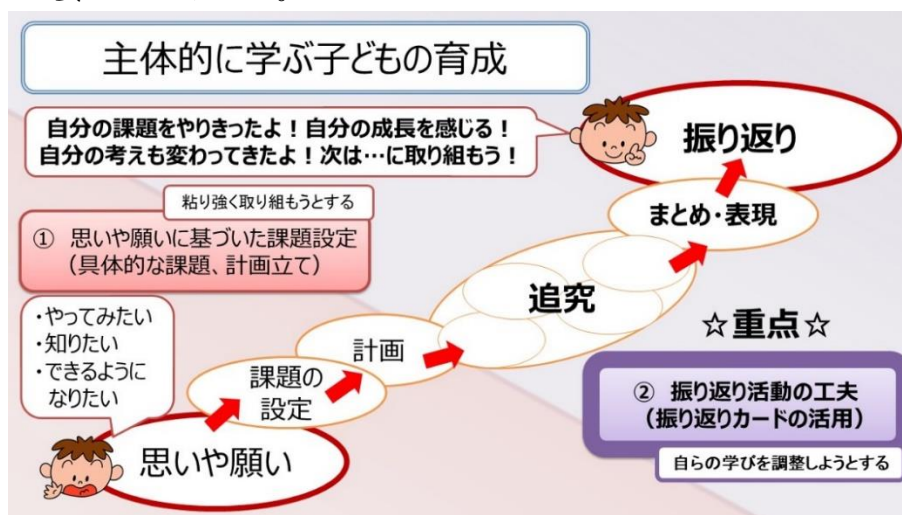
今年度は、2年間の成果・課題を基に、生活科・総合的な学習の時間に限らず、児童の主体的な学びにつながる授業実践を各教科に広げて取り組むことをテーマとしていく。各教科の特性を生かしながら、『子どもの思いや願いに基づいた課題設定』と『振り返り活動の工夫』を重視して実践を進めていきたい。

手立て① 子どもの思いや願いに基づいた課題設定

イメージマップ、フローチャート等を活用して、思いや願いを広げ、整理し、共有する中で、思いや願いに基づいた具体的な課題を洗い出す。それを参考にして、自らの課題を設定し計画を立てていくことで、課題を自分事として捉え、粘り強く取り組む姿につなげたい。

手立て② 振り返り活動の工夫

学習履歴図等の振り返りカードを活用して、活動の区切りやまとまりごとに、学習活動の成果や自分の考え、改善点等を記録していく。その際、振り返りの視点を示したり、思いや願いの実現や次の活動につなげる児童の姿を教師が価値付けたりしていく。また、友達と振り返りを共有する場を設けることは、思いや願いの実現や次につなげる主体的な学びにつながると考える。この取り組みを通して、自分の考えを改善して、課題解決に向けて、調整しながら取り組む姿につなげたい。



【基本的な考え方】